

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
麻生外語観光&製菓専門学校	平成3年1月8日	竹口 伸一郎	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-14-17 (電話) 092-415-2288				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 麻生塾	昭和26年3月12日	理事長 麻生 健	〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-38 (電話) 0948-25-5999				
目的	結婚式場を備えたホテル及び結婚式場のスタッフ、衣裳コーディネーターなどブライダル産業に幅広く関わり、活躍できる人材の育成を目指す。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	ブライダル・ウェディング科	平成22年文部科学大臣告示第31号	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1930	580	1180	480	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
80人	95人	3人	15人	18人			
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日 *1年次はホテル実習のため学期を分割して運営		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、出席状況、授業態度確認テスト等の総合評価			
長期休み	■夏 季:8月9日～9月11日 ■冬 季:12月25日～1月11日 ■学年末:3月10日～4月3日		卒業・進級条件	ア. 指定科目全ての修得 イ. 各学年の出席率90%以上 ウ. 卒業基準検定の取得 エ. 学生としてふさわしい生活態度			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 欠席届と理由書(医師の診断書等)提出		課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 ホテル、ブライダル、旅行業界など ■就職率 <sup>※1</sup> : 98.6% ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>※2</sup> : 93.2% ■その他 (平成27年度卒業者に関する平成28年4月1日時点の情報)		主な資格・検定等	サービス接遇検定準1級 色彩検定3級、マナープロトコール検定ABC検定など			
中途退学の現状	■中途退学者 3名 ■中退率 2.3% 平成27年5月1日 在学者 133名 (平成27年4月 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 130名 (平成28年3月 卒業者を含む)						
	■中途退学の主な理由 進路変更による退学、経済的理由による学業継続困難等						
	■中退防止のための取組 担任による定期ガイダンスや三者面談の実施、定期的な状況報告等						
ホームページ	URL: <a href="http://www.asojuku.ac.jp/aftc/">http://www.asojuku.ac.jp/aftc/</a>						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

企業連携により実施する10週間のホテル実習を通してホテル業界において必要とされる知識・技能を取得する。実習内容については、卒業に対する「お客様アンケート」結果による業務内容・実習期間・評価方法を明確に定め、その内容に沿った指導と評価を受けることで学内の学習との相乗効果を図る。実習終了後は企業からの評価を受け、成績と単位を認定する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
加藤 博志	九州B.M.C.会長
江口 克司	株式会社ニューオータニ九州 ブライダル担当部長
古賀 三和子	株式会社アルカディア 人事課長
郡 篤 奨	麻生外語観光&製菓専門学校 副主任
東 まゆみ	麻生外語観光&製菓専門学校 ブライダル・ウエディング科 専任教員
木村 匡志	麻生外語観光&製菓専門学校 ブライダル・ウエディング科 専任教員
中村 直輝	麻生外語観光&製菓専門学校 ブライダル・ウエディング科 専任教員

(開催日時)

平成27年度 第1回 平成27年6月25日 15:30～17:30

平成27年度 第2回 平成27年10月22日 15:30～17:30

平成28年度 第1回 平成28年6月23日 16:30～17:30

平成28年度 第2回 平成28年10月20日 15:30～17:30

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

1年次に8週間のホテル実習と2週間のブライダル実習を経験し、接客に必要なコミュニケーション能力向上を図り、現場に必要なスキルと知識・実務を学習する。実習中は期間ごとの到達度を記録し、段階的な評価をしていく。実習終了後は、総合評価表にて、学生が実習中に取得した知識、接客態度、習熟度を総合的に評価する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
ホテル実習	企業連携により実施する、8週間のホテル実習を通してサービスにおいて必要とされる知識・技能を取得する。また配属された部署を通して、ホテル組織の仕組みや部署間の連携を学ぶ。	セルリアンタワー東急ホテル、京都ブライトンホテル、神戸ポートピアホテル、横浜グランドインターコンチネンタルホテル
ブライダル実習	企業連携により実施する、2週間のブライダル実習を通してサービスにおいて必要とされる知識・技能を取得する。また各ブライダルの現場を通して、最新のトレンドとブライダルマーケットの現状を学ぶ。	アイ・ケイ・ケイ(株)、(株)テイクアンドギブ・ニーズ、アルカディア、澁上ファインズ等

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

業界就職に求められる人物像を分析し、カリキュラムやシラバスに反映させ、さらに即戦力となる人材の育成を図るため、「教職員研修規定」に則り、教職員の能力及び資質等の向上を目的とした研修を継続的に実施することを基本方針とする。

定期的な企業からのヒアリングや企業説明会に参加し情報収集することにより、ホテル・ブライダル業界の現状を常に把握し企業視点を軸とした教育サービスの提供を目指す。

定期的実施されるホテル系関連団体の会合等に参加し、業界に関する情報交換やトレンドを把握し、学生の就職や授業に反映する。

## 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
村山 聖子	平成28年度入学ブライダル・ウエディング科1年生 保護者

堀部 豊和	平成23年度 卒業生
久永 妙美	平成21年度 卒業生
浦川 美代子	博多駅南1丁目1区 自治会長
甲斐 直樹	福岡県立直方高等学校
増田 義孝	航空貨物研修センター 代表
山方 浩	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー 事務局長
松坂 寛則	九州マレーシア協会 事務局長
加藤 博志	九州B.M.C.会長
鶴田 武彦	福岡県洋菓子協会 専務理事・事務局長
長 加奈子	福岡大学 准教授
芳野 香織	ANA福岡空港株式会社 旅客サービス部 国際旅客サービス課マネージャー
荻原 将章	ANA福岡空港株式会社 ラインハンドリング3課マネージャー
平野 孝文	日本通運株式会社 福岡支店九州グローバルロジスティクス企画 次長
木村 弘	トップスタッフ株式会社 九州支店 主任
金 大義	株式会社韓進インターナショナルジャパン 福岡空港事業部 事業部長
森山 光	株式会社アルク教育社 福岡支店 支店長
能城 めぐみ	ヒルトン福岡シーホーク 人事部 次長一人材開発担当
大屋 寿	株式会社ニューオータニ九州 執行役員人事総務部長
江口 克司	株式会社ニューオータニ九州 ブライダル担当部長
古賀 三和子	株式会社アルカディア 人事課長
宮川 正和	パティスリーポッシュ オーナーシェフ
柳原 久一郎	株式会社ブライトウェイ
船橋 修	ロイヤルホールディング株式会社経営企画部ロイヤルグループ採用・教育担当課長
樋口 耕平	株式会社JTB九州 企画総務部

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:[http://www.asojuku.ac.jp/wp-content/uploads/2015/10/hyoka\\_aftc.pdf](http://www.asojuku.ac.jp/wp-content/uploads/2015/10/hyoka_aftc.pdf)

## 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.asojuku.ac.jp/> (麻生塾ホームページ)

<http://www.asojuku.ac.jp/aftc/> (麻生外語観光&製菓専門学校ホームページ)

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ブライダル・ウエディング科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ウエディングセレモニー論 I	ブライダル産業の成り立ちから、結婚式の形式などの知識を学ぶ	1前	20	1	○			○		○		
○			ウエディングプラン演習	オリジナルウエディングの企画・演出能力を養う	1後	20	1		○		○		○		
○			ホテル概論	ホテルの歴史、組織、婚礼部門の業務内容などを体系的に学ぶ	1前	20	1	○			○		○		
○			ブライダルメイクA	ブライダル業界で働く上で必要なメイクを学ぶ	1前	20	1			○	○			○	
○			ブライダルメイクB	ブライダル業界で働く上で必要なメイクを学ぶ	1後	20	1			○	○			○	
○			ブライダルフラワー I	ブライダルの現場に必要なブーケ、装花の知識を習得する	1前	20	1		○		○		○		
○			ブライダル衣裳	ドレスコーディネーターとして必要な知識を習得する	1後	20	1	△	○		○			○	
○			ブライダル接遇演習 I	ブライダルスタッフとして必要な接客技能の基本を身につける	1後	20	1	△	○		○		○		
○			カラーコーディネート演習A	披露宴の演出及びドレス・装飾などに必要な色についての基礎知識を深める	1前	20	1		○		○			○	
○			カラーコーディネート演習B	披露宴の演出及びドレス・装飾などに必要な色についての基礎知識を深める	1後	40	2		○		○			○	
○			レストランサービス演習	レストランウエディングや披露宴での料理、飲物のサービスについて学ぶ	1前	40	2	△	○		○		○		

○		ブライダル産業演習A	現場担当者の講話及びセミナーを実施し、ブライダル業界への現状の理解を深める	1前	20	1		○		○		○		
○		ブライダル産業演習B	現場担当者の講話及びセミナーを実施し、ブライダル業界への現状の理解を深める	1後	20	1		○		○		○		
○		一般教養IA	就職試験対策として基本事項を学ぶ	1前	20	1	○			○				○
○		一般教養IB	就職試験対策として基本事項を学ぶ	1後	20	1	○			○				○
○		サービス接遇演習	サービス接遇検定2級と準1級の取得を目指す	1前	40	2	○			○		○		
○		ビジネス実務I	ビジネス文書を始めとする、企業で働く庶務全般を学ぶ	1後	20	1	○			○		○		
○		自己表現法	外面、内面ともに磨き、自分をよりよく表現する手法を学ぶ	1後	20	1	△	○		○				○
○		Word	ビジネス文書作成法を学び、Word検定3級の取得を目指す	1前	40	2		○		○		○		
○		Power Pointプレゼンテーション	視覚的表現スキルを高めるためにPower Pointの技能修得を目指す	1後	40	2	△	○		○		○		
○		社会教養IA	自己分析、業界研究など就職のための準備をする	1前	20	1	○			○		○		
○		社会教養IB	自己分析、業界研究など就職のための準備をする	1後	20	1	○			○		○		
○		ペン字	社会人として日常業務に必要なペン字の基礎的な知識、技能の修得を目指す	1後	20	1		○		○				○
○		総合英語	英検またはTOEICの検定を中心に、英語力の向上を図る	1後	40	2	○			○				○
○		GCB I	感謝心と思いやりの教育	1前	15	1	○			○		○		
○		ホテル実習	ホテル業界で実習することにより知識と実践力を養う	1前	320	4				○		○	○	○

○		ブライダル実習	ブライダル企業で実習することにより知識と実践力を養う	1後	80	2				○		○	○	○	○	○
	○	海外ウエディング研修(選択)	海外ウエディングの現場を視察し、実務を見学することにより、職業観を深める	1後	(40)	(1)				○		○				
○		ABC検定対策	アシスタントブライダルコーディネーター検定の取得を目指す	2後	45	3	○				○				○	
○		パーソナルカラーA	色を人に活かす知識と手法を学び、パーソナルカラリスト検定3級の取得を目指す	2前	60	4	○				○				○	
○		パーソナルカラーB	色を人に活かす知識と手法を学び、パーソナルカラリスト検定2級の取得を目指す	2後	30	2	○				○				○	
○		ブライダル接客演習Ⅱ	1年次に学んだ接客の基本を活かし、より具体的な場面に応じた接客マナーの知識を学ぶ	2前	30	2	△	○			○				○	
○		ウエディングセレモニー論Ⅱ	ブライダル産業の成り立ちから、結婚式の形式などの知識を学ぶ	2前	30	2	○				○				○	
○		和装着付演習	和装を自分にも相手にも着付ができる力を養う	2前	30	2				○		○				○
○		イベントプランニング	企画案をイベントとして実行できる力を養う	2前	15	1				○		○				○
○		ブライダルコーディネート演習	挙式・披露宴に必要な演出やアイテムについて、知識を深める	2前	30	2	△	○			○				○	
○		ブライダルビューティ演習	ブライダルメイク・ヘアアレンジ・ネイルなど、花嫁をトータルに演出するアイテムについて知識を深める	2前	30	2	△	○			○				○	
○		テーブルコーディネート演習	結婚式用のテーブルコーディネート・空間コーディネートについて実践を通して学ぶ	2前	30	2				○		○			○	
○		司会演習	ブライダル業界で必要な司会技法を学ぶ	2前	30	2				○		○				○
○		マナープロトコール	冠婚葬祭及び国際プロトコールについての知識を身につける	2前	30	2	○				○					○

○		ブライダル フォト	ブライダル業界に必要な映像技法を学ぶ	2 前	30	2	△	○		○							○
○		ブライダルフ ラワーⅡ	ブライダルの現場に必要なブーケ、装花の 知識を習得する	2 後	30	2		○		○							○
○		一般教養ⅡA	就職試験対策として基本事項を学ぶ	2 前	30	2	○			○							○
○		一般教養ⅡB	就職試験対策として基本事項を学ぶ	2 後	15	1	○			○							○
○		社会教養ⅡA	自己分析、業界研究など就職のための準備 をする	2 前	30	2	○			○							○
○		社会教養ⅡB	自己分析、業界研究など就職のための準備 をする	2 後	30	2	○			○							○
○		ビジネス実務 Ⅱ	来客電話対応など実社会に必要な実務能力 を養う	2 後	30	2	○			○							○
○		茶道	基本の動作と客の作法、略手前ができるよ うになる	2 後	30	2		○		○							○
○		毛筆ペン字	社会人として必要な毛筆ペン字の基礎的な 知識や技能の修得を目指す	2 後	30	2		○		○							○
○		Windows演習	パソコンの操作技能を活かし、より実務的 な文書の作成能力を身につける	2 後	30	2		○		○							○
○		Excel	グラフ・表作成法を学び、Excel検定3級の 取得を目指す	2 前	45	3	△	○		○							○
○		サービス介助	高齢者や障害者へのサービスにおいて必要 な、ケアの基本的動作を学ぶ	2 後	30	2	△	○		○							○
○		GCBⅡ	志について学ぶ	2 前	15	1	○			○							○
○		英会話	社会人として必要な日常英会話表現を学ぶ	2 前	30	2	△	○		○							○



○		手話	手話でコミュニケーションを取るための基本を学ぶ	2後	30	2	△	○		○				○
	○	A	プランナー演習（選択必須）	模擬結婚式に向けて、全体のテーマの企画・運営を学ぶ（選択必須の4つから1つを受講）	2後	90	6		○		○			○
	○	B	ドレス演習（選択必須）	模擬結婚式に向けて、衣裳選定や着付けを学ぶ	2後	90	6		○		○			○
	○	C	ビューティ演習（選択必須）	模擬結婚式に向けて、メイク・ヘア・ネイルなど花嫁をトータルに演出するアイテムを学ぶ	2後	90	6		○		○			○
	○	D	フラワー演習（選択必須）	模擬結婚式に向けて、ブーケ・会場装花の演出について学ぶ	2後	90	6		○		○			○
合計				55科目	1930単位時間( 98 単位)									

\*A～\*Dのどれか一つを選択する

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
各学年における当該学科の指定科目をすべて履修・修得していること。	1 学年の学期区分	2 期	
	1 学期の授業期間	15 週	

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。